

## 令和5年度 第1回 日進市地球温暖化対策地域協議会 議事録

- 日 時 令和5年9月19日(火)  
午後1時30分から3時まで
  - 会 場 市役所本庁舎 4階第2会議室
  - 出席委員 成田暢彦(会長)、桑山和文(副会長)、浅野史剛(委員)、倉知英治(委員)、菅田亘(委員)、今村慎吾(委員)、原真理子(委員)、小林成昌(委員)、刑部雄幸(委員)、小山邦夫(委員)、塚本浩文(委員)、石黒悠子(委員)
  - 欠席委員 なし
  - 事務局 杉田武史(生活安全部長)、近藤伸治(環境課長)、河村秀根(環境課課長補佐)、祖父江篤人(環境政策係係長)、宮田大(環境政策係主査)
  - 傍聴者 2人
  - 内 容
- 開会**

- 出席委員の確認12名中12名の出席。日進市附属機関の設置に関する条例施行規則第4条第2項の成立要件を満たしていることを確認
- 会長、副会長の選出

### 議題

- (1) 令和5年度事業計画進捗状況について
- (2) 各委員の取組について

会 長：それでは、議題(1)「令和5年度事業計画進捗状況について」事務局から説明をお願いします。

(事務局より説明)

委 員：食の地産地消による省エネの推進について、整備が予定されている道の駅で地元の農産物を販売する予定はありますか。

事務局：道の駅の所管課が違うため把握できていませんが、地産地消の所管課の農政課と連携し、環境の側面からも推進していきたいと思います。

委 員：にっしんESD事業や環境まちづくりサポーターズ事業の人材育成の効果が低いように思いますが何とかならないでしょうか。

事務局：人材育成や担い手不足の解消は課題だと考えております。現在策定中の第2次環境基本計画では、取組を推進する担い手づくりにも重点を置くように検討しています。今後もさまざま取組を継続して実施し、担い手不足の解消に努めます。

委 員：市内で産業用の太陽光発電設備が計画されていたり、運用されていたりするのでし

ようか。

事務局：どの程度の規模のものを産業用と定義するのかというところではありますが、大規模のものは把握しておりません。

会長：それでは、次の議題に入りたいと思います。「議題（２）各委員の取組について」事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

会長：それでは、各委員の取組について順番に要点や特に伝えたいこと等をお話いただきたいと思います。

委員：今年度の組織編成により、営業所の従業員数が減りました。これに伴い、これまで部署単位で複数のフロアに分かれていた執務室をワンフロアに集約することで省エネにつながるのではないかと思います。また、社有車のエコドライブの徹底について、急ブレーキ、急ハンドル、急加速を検知すると運行管理者にメールで知らせる機能を持ったドライブレコーダーを全車両に搭載しています。やむを得ない場合を除いて従業員の帰社後、運行管理者から注意を行っています。安全運転だけでなく、エコドライブやコスト削減にもつながる取組として昨年度から継続して実施しています。

委員：弊社も今年度下半期の組織再編により、エリアを効率化させるというところで、事務所を少なくしたり、従業員を少なくしたりしています。これにより、空調機器等の省エネにつながるのではないかと思います。また、夏場の冷房については、どの執務室も設定温度を低くしすぎないように取り組んでいますが、外から帰ってくる従業員は、どうしても暑く感じるため、一室のみ設定温度を低くした執務室を用意し、まずはそちらで涼んでもらってからそれぞれの執務室に戻るという取組を行っています。この取組が省エネにつながるかの検証をこれから行っていく予定です。

委員：現在、弊社の本店と日進支店の建替工事を行っていますが、本店の中に日進支店を作ることで空調や照明機器等を集約化して省エネにつながるようにしています。また、各帳票類を電子化することで紙媒体の帳票を減らし、廃棄物の発生を抑制する取組も進めています。

委員：EVバスの実走に向けたデータ取得を行っています。また、日進市と連携して行っている自動運転バスの実証実験については、実走に向けたライセンスを取得するために、先日、名古屋営業所の乗務員が仮免許の取得試験を受けましたが通常のバスとは操作方法が異なることもあり非常に難しい印象でした。現在は実車で研修中です。

委員：社内の機器の効率化というところで、管理面においてはS B T認証取得に向けて各機器に電力計を設置して、さまざま活動を電力計の数値で評価しCO<sub>2</sub>削減に取り組んでいます。また、工場の空調機器について順次、省エネ機器に更新していますが、それだけでは工場が冷えないので従業員の体感温度を下げるために、空気循環システムを内製で構築して、従業員が涼しく感じるような環境を作っています。また、空調機器を効率よく運転させるために、炎天下に設置されていた室外機を冷や

サシステムも内製で構築して省エネを進めています。

- 委員：岐阜県及び土岐市と森林づくり協定を締結して、土岐市で杉の木を育成する活動に従業員も参加しカーボンニュートラルの取組を進めています。
- 委員：コンプレッサーの改善に力を入れています。工場全体のエネルギー比でみるとコンプレッサーは高い割合を占めています。1つの工場でコンプレッサーの配管系を更新したところ、省エネ化が図られ1台の機器を停止することができました。今後も他の工場で更新していきたいです。
- 委員：家庭内の照明器具をLED照明に買い替えました。また、自動車を購入する際に、ガソリン車ではなくハイブリッド車を選択しました。また、廃棄物の発生抑制として、自分が加入している自治会内でフードドライブ活動の周知のために回覧板にチラシを掲載しました。また、アップサイクルの活動を推進していくプロジェクトに参加し、ワークショップを開催しました。
- 委員：家庭の電気機器は買替えの際に省エネ性能の高いものを選択しています。また、自宅のカーテンを遮光、遮熱型のものに変更しています。太陽光発電の設置について、将来的に自宅をリフォームする場合には検討したいです。
- 委員：店舗内の照明について、今年中にLED照明に更新予定です。また、アイドリングストップ機能付きの事業用軽貨物車を導入しました。将来的には配達用のEVバイクの導入も検討していきたいです。また、古紙回収の案内を行いリサイクルも推進しています。
- 委員：マイクロプラスチックを削減し、自然素材へと切り替える取組として、へちまプロジェクトというものを立ち上げ、へちまを使ったエコクッキングやへちまを使ったたわし作り講座等を行いました。講座ではマイクロプラスチック問題について説明して、プラスチックごみの抑制の普及啓発も行いました。
- 会長：ただいま各委員から報告があったことについて、他の委員の取組で詳しく聞いてみたいことなど、他の委員に対して、何かご質問、ご意見はありませんか。
- 委員：マイクロプラスチック問題について、生分解性のマルチが一般的に販売されていることを初めて知りました。
- 委員：さまざまな機器や製品について脱炭素化が進んできていることが分かりました。
- 委員：事業所の取組では、作業スペースを集約するという取組が数社から出ていました。効率的な空調機器の使用として良い取組だと思いました。
- 会長：みなさまのご協力により、滞りなく議事を進めることができました。ありがとうございました。それでは、令和5年度第1回地球温暖化対策地域協議会を閉会いたします。

(3時)